

役員構成も検討中

来年度会費は徴収します

役員会は小松前会長の遺業を偲び黙禱し、議事に入りました。議事では県腎協の運営方針に疑問が集中しました。コロナ禍により諸行事が中断していますが、収束を期待し来年度も会費を徴収します。来年度の役員については、さらに審議を継続します。次回役員会の日程を確認して終了しました。

自己負担0の恩恵

先人たちの奮闘の結果、人工透析は「特定疾病」となり、負担上限も一万円とされました。

その一万円も「重度心身障害者症医療費助成金」として還付されます。

自己負担がゼロとなったのです。こんなに有難い制度は他にありません。

今、あらゆる会議で自己負担の増加が議論されています。

僅かの会費で自己の權益を守りましょう。